

R5 甘利小学校の教育



無形民俗文化財の「綾棒踊り」
R4年度秋季大運動会より

当たり前が、当たり前でできる児童の育成 当たり前のこと（凡事徹底）10か条



- ①自分から進んであいさつをする（「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」）。
- ②名前を呼ばれたら、「はい」とはっきりと返事をする。
- ③席を立つときには必ずいすをしまう。
- ④脱いだはき物を必ずそろえる。
- ⑤時間を守り、けじめをつける。
- ⑥人の傷つくことはしない、言わない、いじめない。
- ⑦相手や場に応じた言葉づかいをする。
- ⑧廊下は静かに歩く。
- ⑨無駄口をしないで、そうじをする（無言清掃）。
- ⑩きまりや約束を守る。



学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら学ぶ子ども

- ◇自分で考え、行動できる かしこい子
- ◇相手の立場に立ち、思いやれる やさしい子
- ◇心とからだをたがやし、いきいきと取り組む げんきな子

1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	全校
61人⑤	65人②	69人②	51人②	54人①	63人⑤	363人①⑦
3学級	3学級	3学級	2学級	2学級	2学級	15学級
特別支援学級3学級（知的7人）（情緒5人・5人）各学年の丸数字は特別支援学級在籍数（外数） 教職員数 47人						

特色

- ◇旭・大草・龍岡の3地区を学区としており、古くから甘利郷と呼ばれています。
- ◇徳島せぎや貴重な文化財が多く、歴史や文化を学ぶ学習素材が豊富です。
- ◇校名にもなっている甘利山について、地域と連携して学んでいます。
- ◇無形民俗文化財に指定されている「綾棒踊り」を全校児童で伝承しています。
- ◇児童数は363人で、遠い地区は一時間近くかけて歩いて登校しています。

方針

- ◇凡事徹底を合い言葉に、当たり前のことが当たり前にできる子どもたちを育てます。
- ◇学習規律・学習習慣の確立をめざし、家庭と連携して学力向上に取り組みます。
- ◇児童が学びたい、保護者が通わせたい、教師が勤めたいと思える甘利小を創ります。
- ◇全職員が足並みを揃えて、全校指導体制で児童の指導にあたります。
- ◇良い行いは賞賛し、指導すべきは指導するメリハリのある指導を行います。

『凡事徹底』を芯柱にした教育活動の推進

めざす学校の姿

- ◇あ 安全で安心できる学校
- ◇ま 学ぶ喜びあふれる学校
- ◇り 理想を共有し地域と共にある学校

めざす教職員の姿

- ◇愛情と情熱をもった先生
- ◇自ら学び指導力向上に努める先生
- ◇率先垂範できる先生

めざす連携の姿

- ◇三者の役割の自覚と連携
- ◇安全・安心な地域
- ◇潤いのある教育環境



児童が学びたい、保護者が通わせたい、教師が勤めたいと思える甘利小を創ります。



全職員が足並みを揃えて、全校指導体制で児童の指導にあたります。



保護者・地域住民とともに、ふるさと甘利を愛する子どもを育成します。